

観光減で就職率も減

県内・来春高卒 全国最低要因を分析



ひで歯科クリニックは2012年に名護市で開院し、金城英典院長を含め歯科医師2人とスタッフ11人で一般・小児歯科、矯正歯科、審美治療などを手掛けています。歯科治療のニーズは「虫歯の治療だけでなく、「治療後の見た目・審美」「明確な説明と短時間での治療」へと変化しています。

同院ではニーズに対応するためIT化に力を入れ、矯正治療では治療前だけでなく、

セラミック加工の内製化

治療期間の短縮実現



口腔内スキャナー画像に子供も興味津々

治療後の状態(シミュレーション)まで3D画像で見せ、治療計画を説明することで患者からの高い満足を得ています。一方で、虫歯の治療では被せ物(クラウン、詰め物、インレー)は従来の金属製ではなく、見た目の良いセラミック製のニーズが高まっています。同院ではこれらを外注していたため治療に2週間以上かかっており、その短縮が課題でした。

そこで、2017年度ものづくり補助金事業を活用し、歯科用CAD/CAMシステムとセラミック加工機械を導入し、セラミック加工の内製化に取り組みました。従来は納品まで平均10日間を要していましたが、新設備では、削った歯をカメラでスキャンし、3D画像でセラミック加工を設計して、院内で切削、焼成まで可能になりました。製作時間は約100分と、従来の

県中小企業団体中央会報告者



上原英樹さん

ひで歯科クリニック 金城英典院長 名護市伊差川51-4 20980(52) 1118

弊社では、当初より3密の回避、マスクや手洗いの励行、検温実施、会議のリモート化などを対処した。加えて民間検査機関に委託し、感染者が出た際は、濃厚接触の有無に関わらず関係する全職員が、迅速に

冷たい風が吹き、学内の銀杏並木はすっかり黄色に染まる。そして、はらはらと落ち、地面を埋め尽くす。それを拾い集め、宙にまく外国の女性。横には、その様子を写真に撮る人。また、珍しげに実を拾う年配の男性。この時期の本郷キャンパスは、外国人観光客が多く訪れて活気があった。僕が好きだったそんな風景は、コロナ禍で消えたと思う。ひとつの感染症で、こんなにも世界が大きく変わるなんて。

感染症の対策

東恩納 惟 東恩納組代表取締役社長

PCR検査を受けられる体制を敷いた。もしも感染者が出た時には、全員の陰性を確認してから現場再開とした。

現場を2週間も止めると工程は大幅に遅れ、お客さまにご迷惑をおかけしてしまう。日当で働く職人もおり、その生活も守らねばならない。検査のための出費は大きい。感染拡大防止と経済活動の両立を考えれば、この様な取り組みは企業の社会的責任のひとつだろう。

また、感染症対策という観点からのリノベーションも始めた。ご興味をお持ちの方はぜひ、ご連絡を頂ければと思う。コロナ後の活気に満ちた世界を待ちながら、一企業としてできることを今後も全力で取り組んでいきたい。

4企業が受験生応援 書店、銀行などで飲料プレゼント

大塚製薬と沖縄銀行、ジュンク堂書店那覇店、教育情報誌の「ジュクタン」を発行するカフブランディングの4社は9日、体調管理をサポートする大塚製薬の飲料「ボディメントドリンク」を受験生にプレゼントする合同企画を発表した。写真。今回で3回目となる。ジュンク堂那覇店は受験参考書コーナーで、参考書などを千円以上購



大塚製薬那覇支店那覇出張所の坂元康一社長は「ベストな状態で受験

皆で「くわっちーさびら」



遠隔イベント用飲食セット販売

県産品を詰めた飲食セットで、新型コロナウイルスの影響で沖縄での会議やイベントがオンライン開催になった主催者向けに販売する。

オンライン参加者に事前にセットを配送することで、沖縄を感じてもらおう。オリオンビールセット、泡盛セット、ノンアルコールの3種類。飲み物にしま豚ジャーキーや雪塩ちんすこうなどのおつまみとデザートを組み合わせた。価格は全国一律の送料と消費税込みで、1箱4400円。

沖縄コンベンションセンターの寺山優子副館長は「皆で同じ物を食べることで会話も広がる。県産品のアピールにもつながりたい」と話した。

コンベンションセンター

沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)は、オンライン懇親会に活用できる「沖縄くわっちーさびら」の販売を始めた。

長、県飲食業生活衛生同業組合の鈴木洋一理事長は、テークアウトやデリバリーを組合としても推奨している。県が主導して飲食店を巡回するのは初めて。

那覇市の国際通り周辺と松山周辺の12店舗を、4グループに分けて巡回している。厳しい状況だ」と述べた。



飲食店を巡回する県の嘉数登商工労働部長(左から3人目)と県飲食業生活衛生同業組合の鈴木洋一理事長(同4人目)は12日午後6時25分、那覇市内

広告代理店の「オンライン」(那覇市、鈴木和久代)と浦添市の飲食店「ピストロラ・テール」は10日、新型コロナウイルスの抗体検査キットを販売し、キット購入者に同飲食店で使える食事券を贈呈する取り組みを開始した。

オンラインが扱う検査キット「Chekmed(チエクメド)」は使用者自身で採血し、簡易的に新型コロナウイルスの抗体の有無を調べることができる。検査結果で陽性となった場合、PCR

検査を無料で受けられる。検査に不安がある場合はインターネットや電話で医師と無料相談も可能。販売するキットは8400円(税別)で、ラ・テールで販売する購入者には同店で使える時間無制限の食費飲み放題券を贈る。ラ・テールの眞栄城信代表は「感染症で飲食店は厳しい状況が続いている。検査をすることで安心して飲食店を訪れてほしい」と語った。問い合わせは同店8098(988)4999。

3県の赤字バス、支援の特例継続

東日本大震災で大きな被害が出た岩手、宮城、福島3県の復興を後押しするため、国土交通省が2021年度も、赤字バス路線への特例的な財政支援

「創生期間」が終わり、さまざまな被災地に向かう中、地元で歓迎される財政支援は赤字額の2分の1を補助で、通常は1日当たりの平均利用者が